

女性消防団員の活動状況調査結果



令和4年(2022年)2月10日 公益財団法人 長野県消防協会

【調査の概要】

1 目的

当協会で設置している「長野県女性消防団員活性化会議」(*)では、女性消防団員が自主的、積極的に活動することを目的に、活性化大会の企画や情報交換、交流を行っています。このほど各消防団の取組を参考にして、女性消防団員の活動のさらなる活性化と情報交換を促進するため調査を行いました。(※)メンバーは各地区消防協会から推薦された13名で構成。

2 調査時点 令和3年12月

3 回答者等 市町村消防団本部へ団長名での回答を依頼。地区消防協会が回収し県協会で集約。

4 回答数 77市町村消防団(100%)

5 調査内容

(1) 女性消防団員の状況

(2) 女性消防団員の活動の状況

①平常時の広報活動、訓練・講習等 ②災害時の消火活動、救護活動等 ③意見自由記載

【調査結果の概要】

1 女性消防団員の状況

女性消防団員が所属している消防団 66団(86%)

(1,107名(全団員数32,552名)(R3.10.1日本消防協会会員数調査)

2 活動の状況

平常時 広報活動76%、訓練・講習79%、式典運営77%、ラッパ吹奏・音楽隊41%

その他の活動：高齢者宅の訪問、雑踏警備、ラジオ番組制作など

災害時 消火活動39%、救護活動47%、避難所支援35%、避難誘導26%

その他の活動：災害対応に係る情報収集、情報提供、無線の記録、土のう積など

3 概要

○ 平常時

- ・7割を超える消防団の女性団員が広報活動、訓練・講習、式典運営に参加しており、活発な活動状況がうかがえる。
- ・広報では、SNSや各種イベントなど多様な活動に参加している。訓練や式典では、活動内容はポンプ操法、初期消火、救命など男性団員と変わらない。その一方で救護訓練や女性団員研修会への参加など、女性団員独自の活動も行われている。

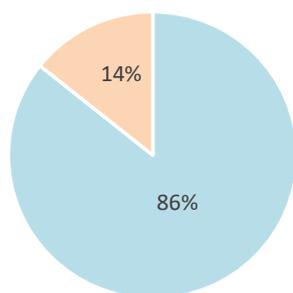
○ 災害時

- ・活動している女性団員は4割弱に留まるが、活動団員の内容は男性団員と変わらない現場活動や加えて飲料、食料の手配など後方支援にも尽力されている。
- ・救護活動を行っている女性団員は約5割であり、傷病者救護、応急手当など活躍が目立つ。
- ・避難所支援や避難誘導については、男女区別なく実施している団もある一方で、活動している女性団員は2割から3割にとどまっている。

○ 全般

- ・女性消防団の活動や勧誘には、家庭や子育て、介護との両立が課題とする団が多いが、女性の視点での新しい考え方、意見や活動の場が広がることへの期待も大きい。

問1 女性消防団員の有無について



■ 所属している 66団(86%)
(以下一覧表のとおり)

■ 所属していない 11団(14%)
川上村・南牧村・南相木村・北相木村・平谷村・
泰阜村・山形村・白馬村・小谷村・高山村・栄村

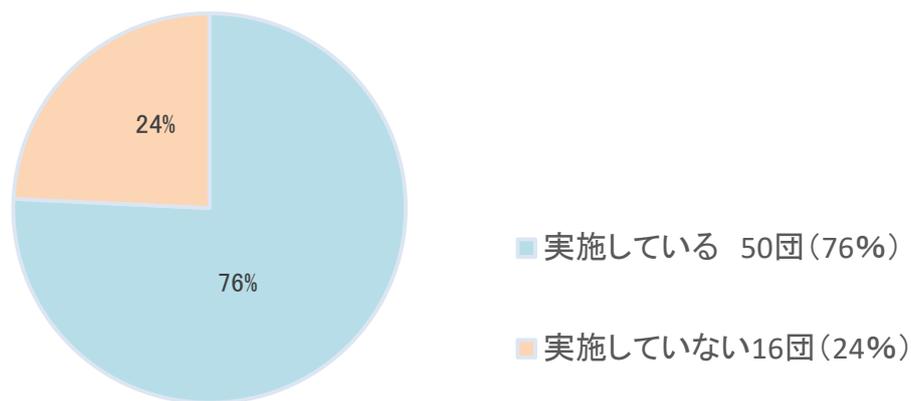
【参考】女性消防団員実態調査より抜粋(R3.10.1現在)

消防団名	女性消防団員(人)	
	実員	うち機能別団員
佐久穂町消防団	8	0
小海町消防団	7	0
小諸市消防団	19	0
佐久市消防団	49	14
軽井沢町消防団	8	0
御代田町消防団	11	0
立科町消防団	6	0
上田市消防団	91	0
東御市消防団	22	0
長和町消防団	26	0
青木村消防団	8	0
岡谷市消防団	36	0
諏訪市消防団	10	0
茅野市消防団	12	0
下諏訪町消防団	20	0
富士見町消防団	3	0
原村消防団	7	0
伊那市消防団	20	8
駒ヶ根市消防団	10	0
辰野町消防団	24	0
箕輪町消防団	38	1
飯島町消防団	9	0
南箕輪村消防団	32	0
中川村消防団	8	0
宮田村消防団	11	0

消防団名	女性消防団員(人)	
	実員	うち機能別団員
飯田市消防団	60	0
松川町消防団	8	0
高森町消防団	12	0
阿南町消防団	7	0
阿智村消防団	6	1
根羽村消防団	7	0
下條村消防団	3	0
売木村消防団	2	0
天龍村消防団	5	0
喬木村消防団	7	0
豊丘村消防団	10	0
大鹿村消防団	10	0
木曾町消防団	18	0
上松町消防団	1	0
南木曾町消防団	13	0
木祖村消防団	8	0
王滝村消防団	6	0
大桑村消防団	7	0
松本市消防団	78	43
塩尻市消防団	18	17
安曇野市消防団	42	0
麻績村消防団	14	0
生坂村消防団	5	0
朝日村消防団	1	1
筑北村消防団	10	0

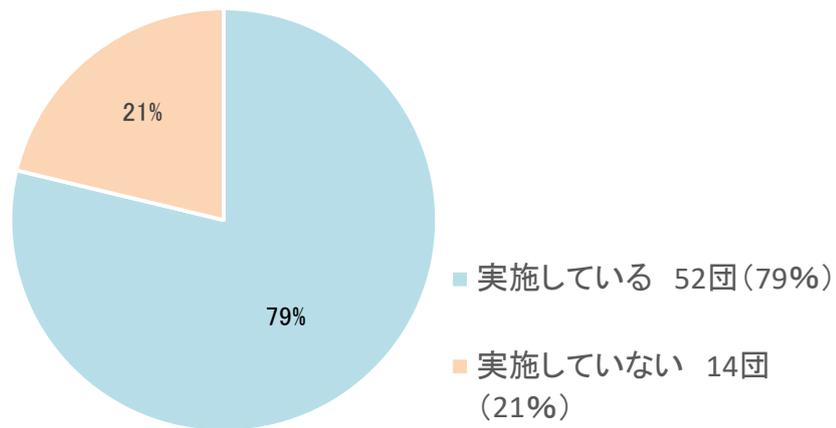
消防団名	女性消防団員(人)	
	実員	うち機能別団員
大町市消防団	27	0
池田町消防団	8	0
松川村消防団	11	0
千曲市消防団	19	0
坂城町消防団	15	0
須坂市消防団	31	0
小布施町消防団	2	0
長野市消防団	55	0
信濃町消防団	15	0
飯綱町消防団	13	0
小川村消防団	6	0
中野市消防団	27	0
飯山市消防団	7	0
山ノ内町消防団	9	0
木島平村消防団	4	0
野沢温泉村消防団	5	0
合計	1,107	85

問2 (1) 広報活動について(平常時)



具体的な内容
① 消防団の活動の様子など撮影し、SNSを通じ広報(4~5名)
② 防火思想の普及・広報等(全団員で活動 内女性7名)
③ 月に1~2回、2人1組で火災広報を市内全域を巡回
④ 成人式等各種イベント時団員募集広報(年3階程度、3人)
⑤ 主に独居のお年寄りの家で防火診断し、火災予防を呼びかけ
⑥ 秋・春の火災予防週間での広報活動、14日延べ14人、車両パレードで拡声器による広報
⑦ 盆警戒(年1回、お盆中2~3人で巡回広報)
⑧ 年末特別警戒(年1回、12月28日~12月31日、2~3人で巡回広報)
⑨ 二年詣雑踏警備(年1回、12月31日~1月1日、境内の雑踏警備、5人)
⑩ 諏訪消防協会LCV-FM消防番組制作委員 隔月1名
⑪ 保育園等での啓発活動。広報誌の作成。消防団員募集チラシの作成
⑫ 月2回程度、所属する部ごと車両広報等を行う。(男性団員同様)
⑬ 隔月で無線通信訓練実施
⑭ ポスター等の出演、団員募集パンフレット作成、火災予防運動PRビデオ作製、年1回予防査察
⑮ SNS(フェイスブック、インスタグラム)の活用
⑯ 団員加入促進や火災予防PRなど8人年間3回
⑰ 消防署と共同でスーパーにてチラシ配布、幼年消防教育広報
⑱ 音楽隊による年1回定期演奏会約25名参加、カラーガード隊各種行事へ約5名参加
⑲ 1日消防長、びんずる等火災予防イベントに3名程度参加(最近はコロナにより中止)

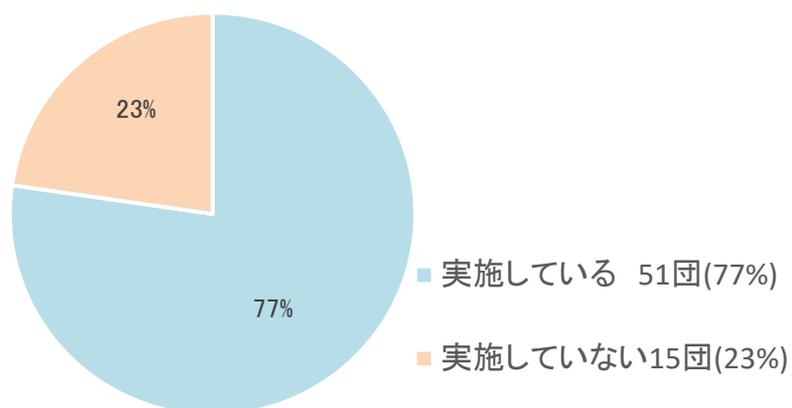
問2 (2)訓練・講習について(平常時)



具体的な内容

- ① 団の年間計画に基づき、訓練3回(教養・体力向上・規律訓練)
- ② 講習2回(北佐久女性団員研修・県女性団員研修)他10回程度(事業所等救命講習)
- ③ 応急手当の普及啓発及び社会福祉施設等における防火啓発
- ④ 操法訓練(5～7月)、火災想定訓練初期消火訓練・炊き出し訓練など(夏季訓練)
- ⑤ 認知症サポーター研修、ゲートキーパー研修(冬季座学)など過去に実施、防災訓練時にパソコンを使った紙芝居・クイズなど
- ⑥ 各分団の各種訓練(ポンプ車・小型ポンプ取扱)市の操法大会に出場した例もあり
- ⑦ 地区協会主催の女性消防団員研修会への参加
- ⑧ ポンプ運用訓練、救護訓練(分団所属)年1回
- ⑨ 春・秋非常招集訓練(年1回、訓練参加8人)団総合訓練(年1回、訓練参加8人)
- ⑩ 応急手当講習(町団年1回、各区や学校からの依頼により実施(年3～4回)3人)
- ⑪ 町総合防災訓練、水防訓練(年1回、訓練参加8人)
- ⑫ 春・秋季総合訓練、町防災訓練等 3名
- ⑬ 普通救命講習・初期消火訓練・火災予防啓発・放水訓練・無線取扱訓練
- ⑭ 救助用ゴムボートの訓練
- ⑮ 女性部を対象とした救護講習会を実施。(女性団員17名参加)
- ⑯ 男性団員への救護訓練開催、防災訓練時各地で救護訓練
- ⑰ 後方支援(火災記録の記入など)救命処置(AEDの使い方など)
- ⑱ 女性消防団員活性化大会への参加
- ⑲ 年1回の総合防災訓練で消火器取扱訓練及び煙中体験訓練を女性団員6名主導で実施
- ⑳ S-KYT研修、水防訓練への参加

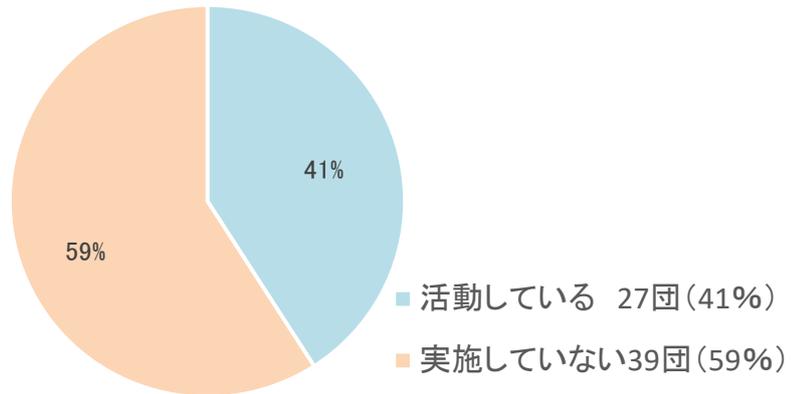
問2 (3)式典運営について(平常時)



具体的な内容

- ① 出初式受付、来賓案内、式典における定例表彰補助
- ② ふれあいコンサート、消防野球大会、年末警戒出発式補助
- ③ ポンプ操法大会等の受付・アナウンス・来賓対応(基本全員)
- ④ 音楽隊定期演奏会受付など
- ⑤ 春季訓練や出初式での保育園児との行進
- ⑥ 辞令交付式補助
- ⑦ 出初式等の式典における司会・賞状運搬
- ⑧ 祝電等の読み上げを担当
- ⑨ 記録撮影
- ⑩ 来賓案内・司会等を務めているが、女性に限ってはいない

問2 (4)ラッパ吹奏・音楽隊について(平常時)



具体的な内容

- ① 月4～5回練習、各大会・イベントへの参加 他出演依頼があれば参加
- ② 音楽隊(月4回定期訓練、14人)音楽隊交流会(年1～2回)
- ③ 近隣地域音楽隊との交流会14人
- ④ 出初式(人員・服装・車両点検、分列行進、車両行進、式典での演奏、14人)
- ⑤ 音楽隊の定期訓練、最大月4回
- ⑥ 過去にラッパ班に女性を加えていたが、今年度は0人
- ⑦ 音楽隊を通じて広報・啓発活動を行っている
- ⑧ 年1回定期演奏会約25名参加

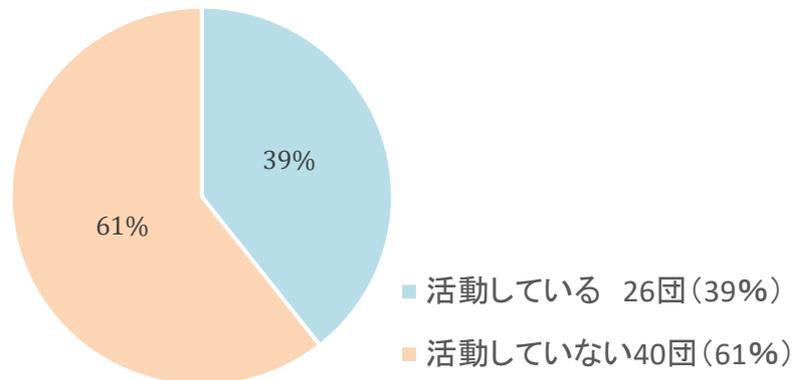
問2 (5)その他の活動について(平常時)

・活動している 14団

・活動していない52団

具体的な内容
① 消防学校入校、毎年1度秋の火災予防運動中1人暮らしの高齢者宅訪問を行う。
② 救急救命講習の指導(年1回程度・約5人)
③ 全国女性消防団員活性化大会用ポスター作製や配布物作成、出初式用ポスター作製
④ 保育園避難訓練、商業施設での防災講座(紙芝居・防災クイズ)年間2回、紙芝居の制作
⑤ 町の行事、お祭り等に対する雑踏警備等(年3~4回、依頼ごと参加8人)
⑥ 地元FM局ラジオ番組制作(近隣6市町村女性団員で持ち回り5分番組放送)
⑦ 防災講演会の開催
⑧ 大北協会、県女性消防団員活性化会議等にて活動

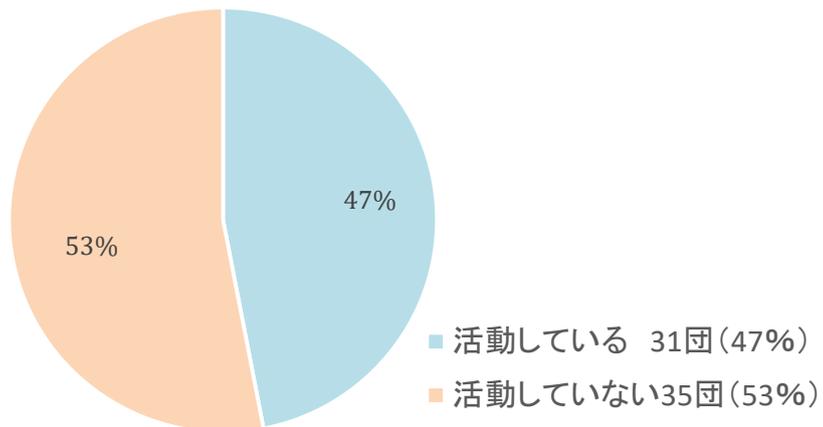
問2 (6)消火活動について(災害時)



具体的な内容

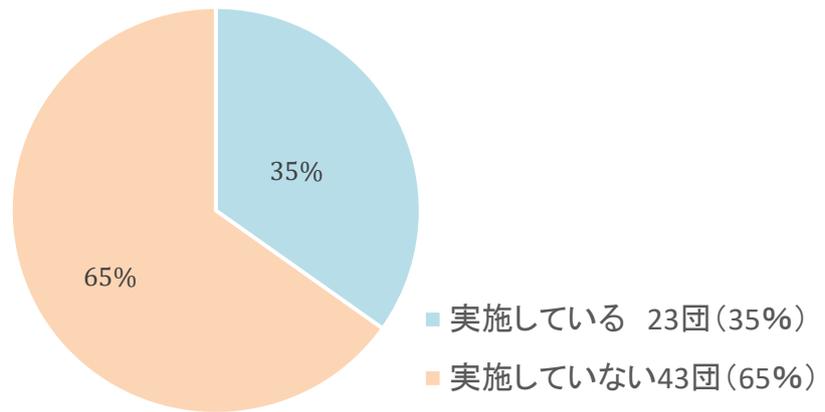
- ① 男性女性区別なく実施(全団員で活動 内女性7名)
- ② 本部と連絡をとる際に、本部女性団員に火災現場の状況を報告している。
- ③ 所属分団管内の火災出動時の交通整理など
- ④ 筒先員・機関員などでの現場活動。
- ⑤ 指揮隊運用等補助員8人
- ⑥ 所属分団の一員として、男性団員と同様に活動実施。
- ⑦ 消火活動の補助(現場指揮本部補助)
- ⑧ 飲料、軽食の手配等後方支援
- ⑨ 記録作成、非常線配備
- ⑩ 一般団員として活動している、全ての活動を実施している
- ⑪ 現場に出動し、活動に参加している

問2 (7)救護活動について(災害時)



具体的な内容
① 団員の地元で起こった火災時、傷病者救護を行う
② 行方不明者捜索時では、捜索に加わったり、救護活動をする。
③ 被災者救護
④ 各種現場、訓練等での救護事案があれば実施する。(3~5人)
⑤ 所属分団の一員として、男性団員と同様に活動実施。
⑥ 救護班に所属する団員(15名中女性10名)を中心に救護訓練等を行う。
⑦ 被災者等に対する救急救護(応急手当、配給補助等)
⑧ 非常時に救護班として活動
⑨ 負傷者等への救護活動など
⑩ 災害時における救護活動
⑪ 有事の際は日赤奉仕団と連携して対応。全団員5名。
⑫ 本部待機で、負傷者があれば手当等の処置をする
⑬ 軽傷者の救護、出動時応急手当等
⑭ 大規模災害時には後方支援活動
⑮ 災害時の活動を想定し、性別問わず訓練している
⑯ 大規模災害時避難場所での応急手当を想定
⑰ 災害時に備え救命講習の受講、避難所等の運営支援(実績なし)
⑱ 本部員で救命救急講習普及員の資格を持つ者は必要に応じて救護活動を実施
⑲ 災害時避難所へ避難された方の介護等、各避難所約2名

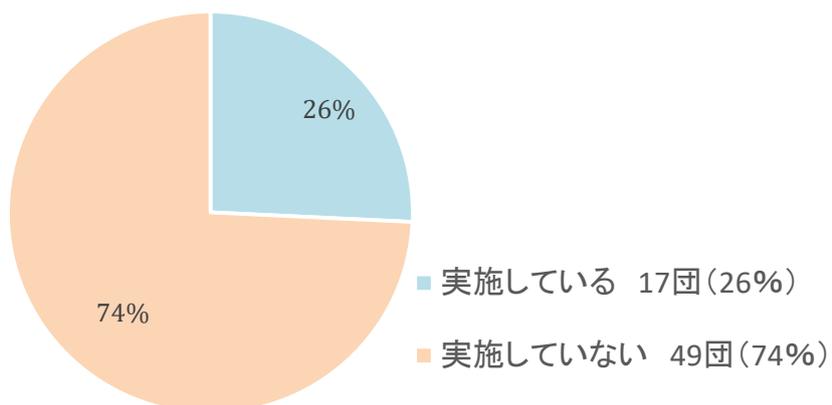
問2 (8)避難所支援について(災害時)



具体的な内容

- ① 男性女性区別なく実施(全団員で活動 内女性7名)
- ② 避難所で地元の方々と一緒に支援活動をする。
- ③ 所属分団の一員として、男性団員と同様に活動実施。
- ④ 大規模災害時等の避難所における女性避難者の対応。(活動実績なし)
- ⑤ 避難所運営の補助(受付や物資当の配布を想定)
- ⑥ 一般団員として活動している、全ての活動を実施している
- ⑦ 具体的な実績はなし
- ⑧ 避難所開設訓練などを行っており災害時の活動を想定
- ⑨ 必要に応じて被災者支援
- ⑩ 全消防団員対象
- ⑪ 大規模災害時に避難所で避難者のケアを想定
- ⑫ 避難所設営時、非常食等の配布。
- ⑬ 分団員である者は、必要に応じて実施する可能性がある
- ⑭ 市職員と消防団を兼務している団員について女性の視点による避難所への助言等

問2 (9)避難誘導について(災害時)



具体的な内容

- ① 男性女性区別なく実施
- ② 住民等の避難誘導
- ③ 警戒情報発令時における広報活動など。
- ④ 所属分団の一員として、男性団員と同様に活動実施。
- ⑤ 所属する部、分団ごと活動を行う。(男性団員同様)
- ⑥ 災害時における避難所誘導(6名)
- ⑦ 全消防団員対象
- ⑧ 令和元年東日本台風災害延べ6名活動

問2 (10)その他活動について(災害時)

・活動している 25団

・活動していない41団

具体的な内容
① 災害対応に係る情報収集及び情報提供、現場広報及び連絡
② 詰所にて無線記録
③ 水害時における土のう積み活動。
④ 大規模な水・火災時における本部での情報収集活動。
⑤ 無線の聞き取り。図面の作成。
⑥ 男性団員と同等の活動を行っている。
⑦ 補食用物資運搬
⑧ 現在役場の職員であるため、災害時は各役場の職務に従事
⑨ 現場の状況確認等(ホースの本数やポンプの把握など)
⑩ 消防団本部の指示に応じて、後方支援の実施。
⑪ 対策本部と現場本部にて対応の記録
⑫ 現場本部補助、必要物資運搬
⑬ 車両にて行方不明者の搜索活動、地震発生時団本部で情報収集活動
⑭ 村職員の女性が女性消防団員となっており、災害等発生した場合はまず、村職員として職務があるため団員としての活動はできていない。
⑮ 女性視点からの活動や助言を想定
⑯ 火災時団員用飲料物購入などの後方支援
⑰ 音楽隊の演奏を通じて心の安らぎを与えることを期待している。大規模災害時に避難所等で被災者のケアに期待している。
⑱ 過去3年間で行方不明捜査2名大雨の警戒と巡視3名、火災とならなかった出動2名活動
⑲ 本部員である者は無線対応や火災箇所の構図取得事務などを実施

3 女性消防団員についての意見(抜粋)

内	容
	<p>男性中心の団員では気づかない、女性ならではの視点による、より時代に即した消防団とするための意見を期待。</p>
	<p>女性団員は各分団に所属し、男性団員と一緒に活動している。消火活動では情報伝達を中心に消火作業補助。ラップ班は各分団から団員を選抜してもらい活動、分団と兼務となる。役場以外の町内勤務の女性団員の勧誘がむずかしい。</p>
	<p>団の年間計画に沿って女性班独自の計画を立て活動している。広報活動においては女性班独自のCDを流し、市内を2区域に分け交互に回っている。PR活動、団員勧誘については、地元ケーブルテレビに協力して頂き、出演したり、字幕テロップを毎日流して頂いている。活動情報寄稿など共に共有しながら、1人一人が出来る事に参加するよう声掛けをしている。これからの希望として、大規模災害時の避難所運営や避難された方々の心理的応急処置(PFA)等の訓練、指導講習は、いざと言う時知らなければ対応できないので、講習、訓練等を必ず行って頂きたい。</p>
	<p>災害時には女性消防団員は出動させず、基本平常時の活動となるが、平常時の活動自体も多くないため、基本的役割が少ない。今後は女性消防団員活動の場を増やしていくことが課題となる。</p>
	<p>女性消防隊の活動内容は発展途中だと考える。昨年度末の会議で女性団員の活動希望調査を実施した。新聞作成、女性消防隊の広報活動、親子防災講座、若い世代向け防災講座、防災グッズ作成等の面白い意見があった。女性団員がやりたいと思う活動をすることが隊の活性化や個人のやりがいにつながると考え企画しているが、コロナ禍で実現できていない。いきいきと活動している様子を各地域で伝えることで認知度だけでなく入団希望者が増えることを願っています。</p>
	<p>女性消防団員の募集方法についてよい事例を知りたい・災害時での被災者(女性、お年寄り)のケアを期待したい・女性消防団員の待遇が出来ておらず、整備には費用等もかかり課題となっている(専門の部屋、トイレ等)</p>
	<p>女性団員については、各分団に配属され活動をしている。広報活動では、積極的に活動され、災害時の活動も男性と同様の活動を実施している。今後も「市民の安全・安心」のため、女性団員の活動に期待しています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が救急普及員の資格を取得しているため、救急講習等の更なる普及を期待する。 ・男性社会の消防団を活性化、住民に対するイメージアップに期待する。 ・高齢化が進んでいるため若年層の入団が課題である。 ・仕事、家庭、消防団活動の両立が課題である。
	<p>災害時の役割りについて、消火活動には関わらせず、団指揮本部に入り指揮補助等をしてもらうよう考えているが、実災害では行えていない。</p>

内	容
	<p>当団では、女性団員も各分団に所属して、男性団員と同様の活動内容であり、女性団員特有の活動はありません。</p>
	<p>まだまだ女性団員の入団には理解が進んでいないと感じます。女性団員に行っていただく活動と女性団員だからできる、女性団員でなければならない活動は違うのでそのを見極めることの難しさを感じています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在町内6分団のいずれにも女性団員が所属している ・ハード面では、詰所のトイレの洋式化、男女を分けることを実施した ・女性団員が入団することで、男性団員の出席率が向上するといった相乗効果がみられる ・女性団員が0の状態からの入団は難しい(複数人であれば誘いやすい) ・活動は男性と変わらないが、危険作業へ従事する際にどこまでを許容するかが課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習を受講し、救助活動に活かせるようにしている ・現状の団員のなり手不足の解消 ・今後は、女性班としてではなく、一般団員と同様に活動する女性団員の確保 ・女性団員が少ないため、入団へのためらいや不安がある ・詰所施設などの女性団員の利用も考慮した改修の必要
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在女性団員の大半は、役場職員、保育士であり、近年一般の方の入団は少なく、団員確保が課題になっています。 ・分団ごと屯所の喫煙に関する配慮や、トイレの洋式化等を行っています。
	<p>活動内容、待遇についての男女の公平化</p>
	<p>消防団へ興味を持ってもらうための取組みとして、女性部によるインスタグラムの活用</p>
	<p>現在は式典運営や広報活動が主な活動であるが、今後は出来る範囲で有事出動等へも活動の幅を広げていきたい</p>
	<p>現在、当村の女性団員は役場の職員のみ、一般の人が入団していた時もあったが、消防＝男性のイメージと、飲んで騒ぐ悪いイメージを聞き、地域のひとひとが入団しづらい状況。2～3人一般の人が入団すれば呼び水になるのではないか。</p>
	<p>主に女性団員は救護班として活動。随時募集をしているが、男性のイメージが強くなかなか増えないのが現状。</p>
	<p>活動については、主に消防団行事の裏方的業務、災害現場では後方支援、負傷者の応急救護措置、情報収集等様々な役割を担っていただいている。課題としては、新規団員の確保があり、他団での勧誘方法等参考にしたい。</p>
	<p>現在、加入している女性団員は積極的に救護訓練等を行ってくれており、男性団員への救護訓練も工夫して行ってくれている。しかし、新入団員が入ってこない。勧誘チラシを作成したりと、色々と工夫をしているが入団者がいないのが課題。</p>

内	容
	<p>女性消防団員を採用しているが、役場職員が大半。今後明確な役割を考え、有事の活動のみでない消防団活動とし、民間の女性の入団を促したい。</p>
	<p>孤独を防ぐため分団所属ではなく消防本部に全員を所属させ役割を明確にしている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・女性消防団員の活動に当たっての留意点等は示していない。分団によって一定のルールを設ける場合もあると思われるが、基本的には男性団員と同様の活動をしている。 ・女性目線での消防団に対する新しい考え方や、今後の消防団のあり方、方向性への意見、要望を期待する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・男性消防団員では実施できない部分(炊出し、水分補給等の後方支援)で活動できるように、有事に備えた訓練や講習を受講している。 ・地震発生時の参集訓練を年1回実施している。消防団本部へ入り情報の収集、活動団員の管理等を実施しており、危機意識に務めている。 ・所属地域に偏りがあるので、広報紙を市内全域(公共施設、民間施設)に掲示し通年募集に力を入れている。
	<p>女性消防団員も消防活動が出来ることをアピールできるようにしたい。男女平等とは言われているが、消火活動に駆り出すための勧誘は難しい(家事、子育て等の負担)が課題</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・セクシャルハラスメント等への注意喚起を行っている ・女性視点による消防団活動への展望の期待 ・女性団員の新規勧誘は、子育て世帯、介護世帯であることを理由に断られることが多い。
	<p>全国的に女性・学生団員数の増加に伴い、詰所等施設更新の際は、女性団員が入団しても問題ない施設となるよう留意(トイレ、更衣室の確保)・女性視点から見た、今後の消防団員の在り方・活動方法について意見発信していただくことを期待。</p>
	<p>女性消防団員には、現在本村の消防団があまり実施できていない、幼児・児童などへの啓発活動等の予防消防活動に期待するが、施設の整備を含めた女性消防団員の受入れ環境を整えることができていない。(現在の状況では多人数の女性消防団員を確保することは困難であり、少人数の女性消防団員を各分団に所属させることはできない状況である。)</p>
	<p>女性消防団員を募集するにあたり、どの団体や組織に声をかければいいのかわからない。</p>
	<p>女性ならではの視点を期待している。</p>
	<p>実績が少ないため、今後課題等が出てきた際、他分団の状況など参考にしたい考えである。</p>
	<p>応急手当普及員の資格を取得し、町内の普通救命講習会の講師を行っている。また、町内保育園児を対象に「防災ダッグ」を用いた防災教育を行っている。いずれも積極的に活動いただいております。今後も防火防災思想や救急救護の普及を期待している。</p>